



広報誌：「遊便」（第25号）  
発行：医療法人 仁風会 八雲病院  
発刊日：2023年10月5日

「アフターコロナとICTでこれからの社会的支援は……？」

八雲病院居宅介護支援事業所

所長 貝谷 昭

今年には新型コロナウイルスの類型が変わり、全国各地で数年ぶりの行事やイベントが開催されたり、夏は連日のように酷暑や豪雨災害などのニュースが取り上げられていましたが、皆さんはアフターコロナの「新しい日常」をどのように過ごされていますでしょうか。

私も、通常業務以外でも会議や研修がオンラインから対面・集合の機会が増え、久しぶりに会う関係機関の方などもあり、直接言葉を交わすことで自分の業務の柱でもある「連携」「つながり」を再構築する必要性を感じる事が多かったです。これは皆さんも同様だと思います。しかし、直接会って話すことの重要性を再認識する一方で、コロナ禍でオンラインなどでの会議や業務の機会が増え、今まではなかなか参加できなかった研修に参加しやすくなったたり、時間や手間が短縮されたという場面も多々ありました。

今後も業務や研修、会議などにデジタルツールが導入される流れは変わらず、コミュニケーションや日常生活の様々なことで選択肢の増える社会になっていくのではないのでしょうか。

老若男女、社会的支援を必要としているかどうかにかわらず、近年いわれている「包括的・包含的な社会」には、その人にとって使いやすいツールや安心できる手段で社会や人とつながりながら、望む生活が送れるようになることも大きな要素になると思います。

だからこそ「対人援助」を行う私たちは、対面・オンラインなどの手段にとらわれず「何のために」つながるのかという目的意識を向けることが重要だと思いますが、まずは私もこれからのICT活用の流れに取り残されないよう、自分のスマホにある機能を理解できるくらいにはならなければと思います。

突然のお話で大変恐縮ではありますが、今年度末で居宅介護支援事業所は休所することとなりました。多くの皆様方に大変お世話になりましたこと、この場をお借りし御礼申し上げます。ありがとうございました。

遊便第二十五号：もくじ

巻頭言	1
特集 障がい者虐待と苦情解決を考える	2
法人内活動 雲陽の里外出行事 ひよこさんからのご便り	3
法人アクセス	4

発行元：  
〒690-0033  
松江市大庭町1460-3  
医療法人仁風会 八雲病院  
広報委員会  
電話：0852-23-3456



2月、東京・八王子市の精神科病院「滝山病院」で発覚した、患者への虐待事件は衝撃でした。看護師ら5人が逮捕、書類送検されました。

### 法人内研修報告

6月、法人内虐待防止委員会主催にて、虐待防止に関する職員研修を実施しました。

まず、地域連携室戸谷室長から、法改正に伴い、法人内に虐待防止委員会の設置が義務付けられたことに関する報告がありました。

その後、参加した職員に対し、「あなた自身が精神疾患を発症し、精神科病院に患者として入院しました。あなたから見て、主治医や職員がどのように見えますか？あなたと主治医や職員は対等ですか？」と質問をなげかけ、頭の中でイメージしてもらいました。

イメージしてもらい、「もしあなた自身が患者や利用者の立場だったとしたら、どう感じるのか」を念頭に置きながら、ビデオ鑑賞をしました。高齢者施設



における食事介助場面の一部、夜勤場面を見てもらい、気が付いたこと、疑問に感じたことなどをメモをとり、ビデオ鑑賞後にグループに分かれて、意見交換をしました。日頃の職員自身の業務と立場を変えた時の気持ちのすり合わせや違い、気づきなどを感じることも多かったようです。

三好春樹氏は著書「関係障害論」の中でこう話しています。「専門職ということ自体が権力である、権力があると対等に人と接することはない。必ず上下関係が生まれる」。

職員であること自体が、患者という立場から見て、対等ではないとしたら、権力だとしたら…そうした権力が虐待の火種の1つになる場合があると感じています。

### 適正化委員会主催の研修

令和4年10月14日、島根県運営適正化委員会主催にて、苦情解決に関する研修に出席したことがあります。とても、参考となる内容であり、上記法人内研修でも報告しました。講師の方がお話されていたポイントです。

●苦情申し立てが増大している。豊かになり、お金と時間を持って余している人。ストレス社会、我慢する力の低下と分析。

●苦情にも正当なものと悪質

なものがある。社員の心身を守りながら、それぞれにうまく対応することが求められる。

●正当な苦情を適切に処理すること。サービスと質の向上、社会からの信頼、障がい者虐待や障害者権利擁護につながる。

●内部告発も大切な苦情。気づきを与えてくれる。

●苦情がないことはいいことなのか。その場合、問題が内在している可能性が高い。組織の成長、お互いに高めあう機会を失うことになる。

●苦情は小さなストレスが積み積み積もってから突然出る事が多い。感情が加わる。丁寧な説明を心がけ、常にアンテナを立てておくことが不可欠。

(ビ・フレンディング  
森脇 英人)





### 雲陽の里ひまり外出行事

コロナによってさまざまな行事が制限されておりましたが、昨年より徐々に再開し屋外の公園や、郊外の研修施設の個室等を利用して外の人たちと距離を取る工夫をしながら出かけ、季節の雰囲気を感じていただく努力をしております。

今年はコロナも5類に移行となった事もあり、もう少し活

気のある所へと考え近隣のスーパーひまりにおやつのパンを買いい出かけました。

ゆっくりと選んでいただくために2班に分け、焼き立てのパンに目移りしてなかなか決められない方もありましたが、それぞれ2個程度を選んでレジに並び支払いまでをしていただけるよう職員が付き添いました。

その日のおやつに全部食べてしまう方、1個は翌日に取ってお

く方など様々で外の日常に触れ、自分で選んだパンをおやつに食べながらその日の感想を話す方もありましたが、なかには「このパンどうしたの?」と何事も無かったかのように尋ねる方もいましたが、ご自分で選んだパンはお口に合うようで、おいしそうに食べておられました。

(雲陽の里 花田 智恵子)



久しぶりにスーパーへ外出



時間をかけながらパンを選びます

## ひよこさんからののお便り

### ひよこさんとは…

当法人では、毎年、看護師、精神保健福祉士などを目指す学生さん(ひよこさん)の実習を受け入れています。病院や当法人の社会資源であるコスモス、デイケアたんぽぽ、八雲ハイツ、ビ・フレンドィングが連携して、障がいのある方が日常どんなサービスを使いながら生活しているのかを体験したり、障がい者の方たちの生活のしづらさ、生きづらさなどを知ってもらう機会となっています。

同時に、ひよこさん達の感想や気づきを聞かせていただくこと自体が、実は我々職員の学び

ややる気、そして何より“初心に帰る”ことに繋がることも珍しくありません。では、最近実習されたひよこさんからの感想を聞いてみましょう。

### ひよこさんからののお便り

実習の中での利用者さんとのかわりを通して、支援者を志すうえで自分に足りない部分を知ることができたり、病気や障がいに対しての捉え方が変化したりしました。12日間と短い間で、ここでは書ききれないほど多くのことを学ぶことができました。また、不安や

多くの悩みとたたかいながら取り組んでいましたが、最終日には「楽しかった!」と言って終わることができ、実習の12日間をとっても充足した時間にする事ができたと感じています。そのように感じられるのは、利用者の方々が温かく受け入れてくださり職員の皆様が見守ってくださったおかげであると思います。

今回の実習で学んだこと・感じたことを大切に、今後もより良い支援とは何か、かわりとは何かを模索し続けていきます。本当にありがとうございました。

(島根大学人間科学部学生)





わたくしたちの理念  
 わたくしたちは心の声を大事にします  
 わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

## 医療法人 仁風会

○八雲病院 (外来診療時間午前中のみ受付時間)

平日8:30—12:30 / 土 8:30—11:30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話 (0852) 23-3456

F A X (0852) 23-3495

・デイケアたんぼぼ (精神科デイケア)

月曜日～金曜日 午前9:30—15:30

・デイケアやくも (重度認知症デイケア)

月曜日～金曜日 午前9:00—15:30

・八雲病院 居宅介護支援事業所

○コスモス (自立訓練【生活訓練】事業所)

松江市大庭町1459-1

電話 (0852) 23-3360

F A X (0852) 23-3370

○ビ・フレンドिंग (地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3

電話 (0852) 23-4111

F A X (0852) 23-4112

○雲陽の里 (認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1

電話 (0852) 23-3700

F A X (0852) 23-3710

### ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、是非下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会八雲病院、広報誌「遊便」共々よろしく願い致します。

(医)仁風会 八雲病院  
 広報委員会まで

### 表紙写真について

大山登山口です。もうすぐ紅葉が見頃です。初登山をした時の写真です。(重松)

今年に入り、コロナも5類へと移行したため、様々な場所でのイベントや行事が復活しており、季節を感じやすくなったり、思い出も作りやすくなったりしていると思います。医療人として引き続き感染対策を継続しながら家族や友人と大切な日を作っていきたいです。

(奥井)

お知らせ

### ホームページのご案内

当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.yakumohp.net/>

